様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-イ	世界最高水準を見据えた拠点空港等の整備	施　策	②国際路線の拡充に向けた取組強化
			施策の小項目名	○那覇空港及び離島空港における海外航空路線の拡充
主な取組	新規就航定期便等への支援		対応する成果指標	那覇空港の国際路線数（就航都市数）
施策の方向	・那覇空港及び離島空港における海外航空路線の拡充を図るため、航空会社に路線開設や増便、チャーター便運航から定期便化に向けた働きかけを行うとともに、連携キャンペーンの展開や旅行商品の造成等を支援し、市場の状況に合わせた段階的な路線誘致活動に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
那覇空港及び離島空港における海外航空路線の拡充を図るため、航空会社に路線開設や増便、チャーター便運航から定期便化に向けた働きかけや商談会に出展を行った。また、連携キャンペーンの展開や旅行商品の造成等を支援し、市場の状況に合わせた段階的な路線誘致活動を行う。	県	アジア主要都市からの新規定期便・チャーター便の就航に向けた取組に対する支援		
		新規就航定期便等への支援件数（累計）		
		10件	10件（20件）	10件（30件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄観光グローバル事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	643,185	550,134

予算事業名	沖縄観光グローバル事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	576,323

令和6年度活動内容

新規就航定期便等への支援を10件実施した。

令和7年度活動計画

新規就航定期便等への支援件数は、10件を予定している。

活動指標名	新規就航定期便等への支援件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		那覇空港及び離島空港における海外航空路線の拡充を図るため、航空会社に路線開設や増便、チャーター便運航から定期便化に向けた働きかけや商談会に出展を行った。
	10件	10件（20件）	10件（30件）	10件（30件）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
新規就航会社と連携した共同広告を行うことでの認知度向上や、新規就航式典の実施やノベルティ配布などの支援を行った。新規就航のセールスや搭乗率の向上につながるような支援を行うことで、路線の安定化の効果が出ている。また、那覇空港及び離島空港における海外航空路線の拡充を図るため、航空路線商談会等に出展し、ＦＡＭツアーなどを行うなど、路線のＰＲ支援を行った。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○空港の受入体制の整備に向けて他部局と連携して取り組み、那覇空港、新石垣空港および下地島空港の路線回復を図る。 ○市場の沖縄旅行需要を喚起することにより、需要を創出し、航空会社および旅行会社に対して新規就航に向けたセールス活動を強化していく。	○空港の受入体制の整備に向けて那覇空港ビルディングや、新石垣空港および下地島空港などと連携し路線回復を図り、離島便も就航した。 ○市場の沖縄旅行需要を喚起することにより、需要を創出し、航空会社および旅行会社に対して新規就航に向けたセールス活動を強化した結果、増便や搭乗率向上につながった。

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	一部の地域においてビザの緩和が進み、コロナ禍後遅れていた回復が進むと見込まれるが、今後は路線の受入体制が課題となる。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	ビザが緩和されて、外部的要因が一部改善されているため、路線の受入体制の強化も図りながら、路線の誘致を行っていく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-イ	世界最高水準を見据えた拠点空港等の整備	施　策	②国際路線の拡充に向けた取組強化
			施策の小項目名	○海外誘客の既存需要に係る新型コロナウイルス感染症収束後の早期回復
主な取組	各市場での誘客プロモーションの展開		対応する成果指標	那覇空港の国際路線数（就航都市数）
施策の方向	・海外誘客の既存需要については、直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）を重点市場と位置付け、各国・各地域の市場特性に応じたオンライン等によるプロモーション等を進め、新型コロナウイルス感染症の収束後の早期回復に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
海外11市場において、旅行博・現地、商談会、旅行会社・メディア招聘、連携プロモーション、市場プロモーション等を実施する。	県	航空路線拡充の支援、Be.Okinawaブランディング、各市場でのプロモーション等の実施		
		プロモーション実施地域数		
		14箇所	14箇所	14箇所

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄観光グローバル事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	608,118	550,134

予算事業名	沖縄観光グローバル事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	576,323

令和6年度活動内容

14ヵ所の地域において、プロモーションを実施した。

令和7年度活動計画

８ヵ所の地域において、プロモーションを実施する。

活動指標名	プロモーション実施地域数		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		戦略開拓市場（東南アジア）および新規開拓市場（欧州、豪州、北米）において、旅行博、セミナー・商談会、旅行会社およびメディア招聘、市場プロモーション等を実施した。
	15箇所	14箇所	11箇所	14箇所	78.6%	概ね順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

委託事業者、沖縄県海外事務所および沖縄観光レップ（英、仏、独、豪）と連携を図りながら誘客プロモーション活動を実施し、目標14ヵ所に対し11ヵ所の地域で活動を実施でき、進捗状況はおおむね順調となった。令和６年度は那覇空港国際線の回復が進み、運航状況は13路線22社運航となった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○県内観光施設や事業者とともに誘客プロモーションにおける連携を進め、沖縄へのインバウンド誘客拡大を推進する。 ○航空会社や旅行会社に対するプロモーションを強化し、新たな需要の創出と国際航空路線の増加につなげる。	○那覇空港国際線の再開により、令和6年暦年の外国人入域観光客数は184万5,700人まで回復した。 ○台湾市場では台中－那覇路線のほか、韓国市場では５月29日から仁川－下地島空港路線が再開した。同時期に韓国で開幕したトラベルフェアでは県内事業者と出展し現地で同路線をＰＲし、順調な送客へとつながっている。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	本県の令和６年度の外国人入域観光客については、コロナ禍後の定期便路線の復活、新規路線の就航のほか、好調なクルーズ市場を背景に増加傾向が続いている。
⑥ 他地域等の動向(外部環境の変化)	令和６年度の日本の訪日観光客数は過去最高の3,687万人を記録した。政府は2030年には6,000万人の入域観光客を目標としており、市場全体の動きから本県への訪日観光客数の増加が見込まれる。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	航空会社やクルーズ会社との連携をとおしたプロモーションを実施するほか、路線が無い市場についてはブランディングプロモーション（展示会出展等）を推進し、認知度向上に取り組む。
⑥ 変化に対応した取組の改善	認知度向上が必要な欧米豪市場については、沖縄観光レップ（英、仏、独、豪）とのネットワークを活かし、沖縄の歴史や文化、長寿等に関する現地イベントや高付加価値化商品造成に向けた取り組みを実施する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-イ	世界最高水準を見据えた拠点空港等の整備	施　策	②国際路線の拡充に向けた取組強化
			施策の小項目名	○新規市場における戦略的な需要の獲得
主な取組	国際旅客ハブの形成		対応する成果指標	那覇空港の国際路線数（就航都市数）
施策の方向	・新規需要の開拓については、東南アジア地域や長期滞在が期待できる欧米豪露等の海外富裕層等をターゲットに誘客活動に取り組みます。同時に、欧米豪露等からの訪日外国人やアジアへの旅行会社に対し、本県を拠点の一つとした周遊型旅行を提案し、那覇空港を旅客ハブとして活用する国際旅客ハブの形成を推進するため、戦略的に新規市場における需要の獲得を図ります。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
東南アジア地域や欧米豪露をターゲットに誘客活動に取り組みます。同時に、欧米豪露等からの訪日外国人やアジアへの旅行会社に対し、本県を拠点の一つとした周遊型旅行を提案し、那覇空港を旅客ハブとして活用する国際旅客ハブの形成を推進するため、戦略的に新規市場における需要の獲得を図ります。	県	国際旅客ハブ形成に係る周遊型旅行の提案及び他都市や航空会社と連携した誘客プロモーションの実施		
		プロモーション実施地域数		
		2箇所	2箇所	2箇所

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄観光グローバル事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	643,185	550,134

予算事業名	沖縄観光グローバル事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	576,323

令和6年度活動内容

２箇所の地域において、プロモーションを実施した。

令和7年度活動計画

プロモーション実施地域数は、２箇所を予定している。

活動指標名	プロモーション実施地域数		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		東南アジア地域や欧米豪露からの誘客活動のために世界的ハブ空港である仁川国際空港と相互での路線の強化を図る目的としてMOUの締結や海外航空会社と連携し、欧米からの誘客を実施した。
	1箇所	2箇所	2箇所	２箇所	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

世界的ハブ空港との連携を図り、東南アジアや欧米豪からの誘客を目標の２件実施することができ、進捗状況は順調となった。結果として、入域観光客数の増加につながっている。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○県内のインバウンドの誘客体制の回復に向けて、県内事業者に共同出展を呼びかけ官民一体となった誘客体制を整備することで、さらなる需要の創出を図る。 ○観光の質の向上（滞在日数の延伸及び消費単価の向上）に向け、各市場特性に応じた体験型観光を効果的に訴求する。	○旅行博覧会で出展する際、民間企業と共同で出展を行い、官民一体となった誘客体制の取組を行った。 ○観光の質の向上（滞在日数の延伸及び消費単価の向上）に向け、各市場特性に応じた体験型観光に特化した旅行博覧会等への出展も行った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	コロナ禍後、国内旅行客は過去最高の観光客数であるが、外国人入域観光客数はまだ戻ってきていない。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	外国人入域観光客数は回復途上にあることから、今後、近隣諸国の国際ハブ空港を活用しながら、誘客につなげる。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-イ	世界最高水準を見据えた拠点空港等の整備	施　策	②国際路線の拡充に向けた取組強化
			施策の小項目名	○CIQの体制強化など外国人観光客の円滑な受入体制の構築
主な取組	CIQの常設化及び運営体制の強化		対応する成果指標	那覇空港の国際路線数（就航都市数）
施策の方向	・検疫機能の強化が求められており、各圏域においてCIQの体制強化など外国人観光客の円滑な受入体制の構築に関係機関と連携して取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
CIQ常設に向けた検疫指定を目指すために国へ要望するとともに国際線就航に備えた働きかけを行っていく。	国,県,民間事業者等	空港の検疫指定に向けた関係機関との調整及び要請		
		国への要請回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	―			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
―	―	―	―	

予算事業名	―		
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
―	―		

令和6年度活動内容

ＣＩＱ常設に向けた検疫指定について国へ要望する。国際線就航やプライベートジェット機の乗り入れがあるごとに検疫所への業務の協力要請を行った。

令和7年度活動計画

下地島空港のCIQ常設化に向けて関係機関との調整をする。国際線就航やプライベートジェット機の乗り入れがあるごとに検疫所へ業務協力要請を行う。

活動指標名	国への要請回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		国へCIQの「審査体制の強化」および「指定港化」の要望を計３回行った。 また、国際線就航にあたり、那覇検疫所各出張所へ検疫業務の協力要請12回を行った。
	1回	9回（10回）	15回（25回）	１回（３回）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

国へCIQ「審査体制の強化」および「指定港化」の要望を３回行い、検疫所へ業務の協力要請を12回行った。検疫所の業務の協力要請を行ったことで９度のチャーター便運航と３度の定期便の運航があった。また、指定港化の要請を行ったことで新石垣空港管理事務所が検疫飛行場に指定された。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○不定期便の就航も増えていることから、引き続き、国へのCIQ「審査体制の強化」および「指定港化」を要望する。また、国際線の就航があるごとに検疫所へ協力要請を行い、実績を積み重ねていく。	令和６年度は新石垣空港、下地島空港において国際線の就航にあたり、那覇検疫所石垣出張所または、那覇検疫所平良出張所へ業務の協力要請を12回行い、検疫業務が実施されることで国際線の就航ができた。 内訳：新石垣空港４回、下地島空港８回

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	全国的に訪日外国人観光客数はコロナ禍を上回っている。下地島空港においては韓国路線が就航しており、CIQの常設化及び運営体制の強化に向け、さらにCIQ官署への働きかけに取り組む必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	国際線定期便の運航再開や新規路線の就航もあることから、引き続き、下地島空港の指定港化について、国へ要望する。また、国際線の就航があるごとに検疫所へ協力要請を行い、実績を積み重ねていく。